

1997 9月  
(平成9年)



No. 337

佐井村 村民憲章

1. 学ぶ意欲をもち、知性と良識のあふれる村をつくります。
1. 健康と安全を心がけ 明るく楽しい村をつくります。
1. 勤労を喜び、力を合わせて豊かな村をつくります。
1. 自然を守り、人を愛し 心やさしい村をつくります。
1. 心身ともに健全な子の育つ 暖かい家庭と村をつくります。

# 広報さし

編集と発行/〒039-47 青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森20 佐井村役場企画調整課 ☎0175(38)2111





# 夏っ盛り！

新学期が始まりましたが、まだ夏休み気分から抜け出さない今日この頃：

今年の夏は、こども会連合会球技大会、日独スポーツ交流や南茅部町との少年スポーツ交流など、さまざまな交流活動が行われました。

暑かった夏。スポーツで汗を流し、ジュースを飲みながら語り合ったあの日の思い出：  
さあ、気持ちを切り換え早く学校生活に慣れよう。



ゼアー アンゲネーム (はじめまして！)  
左・ジュテファン 右・アニア

(日独スポーツ交流)



ナイス ジャンプ！

(日独スポーツ交流)



ドイツの人も参加して行われた  
ターゲットボードゴルフ大会



未来のマイケル・ジョーダン

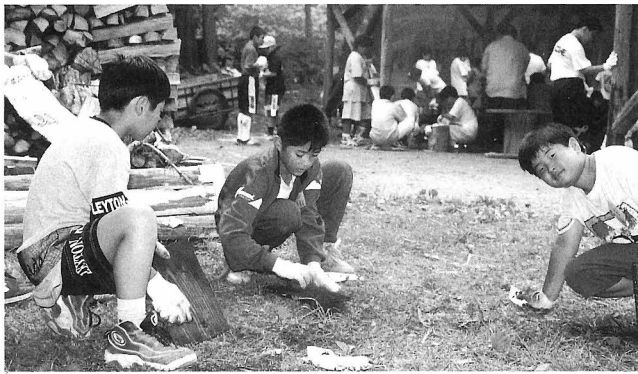
(冗談)  
(こども連合会球技大会)



さい名物「腹芸」？  
(南茅部町との)

少年スポーツ交流

# わいどの広場



## 第25回 函館・下北子ども交流会

七月二十八・二十九日の両日下北少年自然の家で子ども交流会が開催されました。

函館市を含めた道南地方と北通りの三ヶ町村の子どもたちが相互に交流し友情を深めるために毎年開催されています。

今回は佐井の子どもたちが担当して焼板工作やキャンプファイヤーをして楽しみました。

来年は函館の子どもたちが担当して開催されます。



## 海の日

七月二十日は海の日。村内各地でも御神楽の奉納や海上パレードなどが行われました。海の日由来は、明治天皇が明治九年東北地方の巡幸の帰途、函館を経て明治丸という船で横浜に帰還したのが七月二十日でした。天皇が船に乗船したのは初めてのこと、海をよく見ておこうという意図からだったのだ、昭和十六年内閣書記官通牒でこの日を海の記念日としたもので、昨年からは海の日と名称が変更されました。



## 第26回 下北郡身体障害者スポーツ大会

第二十六回下北郡身体障害者スポーツ大会が七月二十九日東通村で開かれました。この大会は多くの身体障害者が積極的に参加し、スポーツを通じて体力の維持増進、機能回復等残存能力の向上と明朗快活な性格ならびに協調精神を養い、かつ障害者相互の親睦を図ることを目的としています。

郡内七町村約二百五十人の障害者が参加しました。結果は、大畑町が優勝し、佐井村は四位に終わりました。



## 佐井ときめき交流ツアー

七月二十三日～二十五日、佐井村漁協とコープあおもり主催の同ツアーが実施されました。

このツアーでは、生協で扱っている商品を作っている産地・工場の見学や簡単な作業体験を通して、村や漁協の人たちとの交流や親睦を図るために実施されているものです。今回は三十八名の方々が参加して、ケビンハウスに泊まりながら仏ヶ浦観光、木工体験や漁協の加工場見学などを行いました。



# 20歳の夏

新成人のみなさんおめでとう!!

20歳を迎え、大人の仲間入りをした新成人を祝う式典が、8月15日アルサスしおさいホールで行われました。

新成人70名のうち42名が出席し、久しぶりの再会を懐かしんでいました。

人生に夢を大きくもち、21世紀を担う若者として大きく飛躍してもらいたいと思います。

## 祝 平成9年度佐井村成人式



奥本貴樹  
(大佐井)



奥本安由美  
(大佐井)



岡本和宏  
(大佐井)



大坂峰恵  
(大佐井)



内田和美  
(矢越)



磯川和美  
(古佐井)



佐々木絵里子  
(古佐井)



小向誠  
(大佐井)



佐賀美友希  
(古佐井)



工藤俊光  
(川目)



奥本美幸  
(大佐井)



加賀知輝  
(大佐井)





下斗米 学  
(原 田)



竹内尚子  
(牛 滝)



渋田昌嗣  
(古佐井)



渋田育世  
(古佐井)



三戸裕介  
(大佐井)



七戸祭子  
(大佐井)



畑中千歳  
(大佐井)



樋口基嗣  
(大佐井)



中嶋琴美  
(古佐井)



樋口博之  
(古佐井)



坪谷絵里子  
(大佐井)



辻 裕樹  
(大佐井)



松村利道  
(原 田)



福田貴子  
(磯 谷)



船越洋文  
(大佐井)



東出寿子  
(川 目)



福田弘一  
(大佐井)



濱野政子  
(矢 越)



宮川亜希  
(矢 越)



宮野達也  
(古佐井)



松澤里美  
(原 田)



宮沢 洋  
(川 目)



正村裕貴子  
(大佐井)



松谷耕次  
(大佐井)



横浜善弘  
(古佐井)



横浜義則  
(原 田)



吉浦悦子  
(矢 越)



横浜篤史  
(磯 谷)



山口健二  
(大佐井)



山本麻絹子  
(大佐井)



はあ〜

盆だあ〜

盆だど!



お盆のお墓参り



祖先への思いを込めてとうろう流し



みちのくワゴン寄席 B & B







空も海もこがす花火大会 (商工会夏まつり)



わいの歌子 下北二郎 (商工会夏まつり)



子どもねぶた盛んに運行



『わいの車だっぎゃ速いでエ〜』  
ミニ四駆大会 (商工会夏まつり)



こんにちは！

# 社会福祉協議会 です

(第二十一号)

第5回



# 夏まつり



去る七月三十一日、高齢者生活福祉センターで、デイサービス利用者を対象に「あすなろ夏まつり」が開催されました。

今年は、デイサービスが変わったこともあり対象の利用者も昨年の約半数でしたが、場所を前回までの社協駐車場から交流室へと移し、狭いながらもなかなかの盛り上がりを見せ、参加したお年寄りの方々も大いに楽しんでいました。同時に、ボランティアワークキャンプも前日から行われており、大間高校ボランティア部の生徒たちも夏まつりに参加して、歌やゲームなどでお年寄りの方々との親睦を深めていました。また、日赤奉仕団の方も踊りを披露してくれました。最後の方では、昨年に引き続き、大間高校の川向先生もかけつけてくれ一曲踊って下さり、今年の夏まつりも盛況のうち幕を閉じました。

ご協力下さいました関係各団体の皆様にお礼を申し上げます。



## 高校生福祉体験

# ボランティア ワークキャンプ

毎年夏に行っている高校生などを対象としたボランティアワークキャンプも今年で五回目を迎えました。このキャンプは、ボランティア活動や福祉に興味のある高校生などが寝起きを共にしながら人と人とのふれあいを通じてお互いに協力・助け合う心を身につけ、自ら進んで社会奉仕する実践力、ボランティア精神を養い、やさしい思いやりの心を育てることを目的に行っています。今年も、七月三十日～八月一日までの二泊三日で参加者二十名、ほとんどが大間高校の生徒ですが、中には、青森の高校から参加した生徒もいました。今回の活動は、デイサービスのの手伝いをする班と保育所の保母さんの手伝いをする班、一日ホームヘルパーをする班の三班に分かれて活動しました。デイサービスや保母さんの手伝いをするのは何も問題なく活動できるのですが、ホームヘルパーをするには、対象者が一人暮らしのお年寄りです。初対面、ましてその人の家へ訪問するのは？という事で訪問前日にお年寄りとの交流遠足を行い二人一組(お年寄り一人、高校生二人)になって尻屋崎を観光したり、むつ市内で一緒に食事や買い物をしてきました。一人暮らしのお年寄りの方はバスに乗って買い物に行く機会がなかなかないので大変喜

んで持ちきれない程の買い物をした人もいました。昼食のときは、ごく普通のおじいさん、おばあさん、孫という感じで、帰りのバスの中では、高校生が「明日訪問してもいいですか?」「何かお手伝いさせてもらえませんか?」と言うと心よく応じてくれ、次の日訪問して窓ふき、草とり、話し相手などをさせてもらい、前日の遠足でお互いうちとけたらしく高校生にとっては、大変充実した活動となったようです。お年寄りの方も大変喜んでくれたらしく手作りのお箸のプレゼントや自分の昔の学生時代を思い出したのか「あおげば尊し」の歌のプレゼントがあったりと大変良い活動となりました。ボランティアの高校生の中には、福祉の仕事をめざす人や全く違う仕事を指す生徒もいましたが、高校生最後の夏休みの記念としてとても良い夏の思い出となったことと思います。

ボランティアという言葉にとらわれず、人がそれぞれ助け合ったり、はげまし合ったりして生きていくのは、あたりまえのことで、そのあたりまえのことを「すごく良いことをした」とか「すごく偉いことをした」と考えず、人間としてあたりまえのことだと思えるようになってほしいと思います。

これが赤十字の里づくりの原点ではないでしょうか。

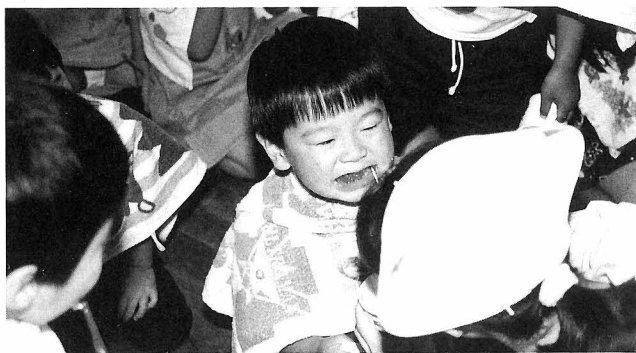
# 保健婦だより



佐井村でも虫歯や歯槽膿漏など、歯の病気になる人が増えています。そのため村では子どもの時から歯の健康を守ってもらおうと、保育所で虫歯予防教室を行っていきます。今年度からはこの教室を五回シリーズで行うことになりました。

アンパンマンの紙芝居や歯医者さんからの話しなど、なぜ・どういう経過でむし歯ができるのかを知ることができました。そのあと歯にピンク色の染め出し液を塗って汚れを見つけ、歯科衛生士さんの声にあわせながら歯をきれいにするみがき方を一緒に行いました。正しいみがき方で歯の汚れも落ちて、口の中はすっきり！

みんなで楽しく歯のみがき方を勉強しました。



## ＜虫歯予防教室＞ —今後の予定—

回数	日時	テーマ	内容	対象
第2回	9月4日(木) 9:30 ~10:30	お野菜がぶり!	栄養士さんのお話 野菜の試食 歯みがき実習	園児
第3回	10月22日(水) 9:30 ~10:30	上手にみがけているかな?	人形劇 歯みがき実習 染め出し実習	園児
第4回	1月22日(月) 9:30 ~10:30	どんなおやつがよいおやつ?	ビデオ上映 歯医者さんのお話 歯みがき実習	園児
第5回	1月22日(月) 午後予定	人生80年、心も元気 歯も元気	歯医者さん・栄養士さん・保健婦さんからの話し	村内に住む子どももつ父母・祖父母

## “食中毒” まだあなだれませんか

今年はい県内で食中毒が多発しています。下北地区でも食中毒の発生が聞こえてきています。県内では七月までに十七件の食中毒が発生し、百八十一名の方が食中毒にかかっています。特に、サルモネラや腸炎ビブリオ食中毒が多発しており、幸いにも本県での

死亡者は出ていませんが、今年六月には群馬県前橋市でサルモネラ食中毒による死亡者がでていました。

また、七月には隣県岩手県でO-157により、全国で今年三人目の死亡者がでています。

食中毒は、食中毒菌の増殖しやすい高温多湿の七月から九月の間に年間の七割が発生しています。

食中毒を防ぐためにも、食中毒予防の三原則「細菌をつけない・増やさない・殺す」をこれからも守りましょう。

水道の水で手をよく洗いましょう









# 交母だより



佐井村  
交通安全母の会

## 夏のマスコットプレゼント作戦実施

夏の交通安全週間が始まった七月二十一日、古佐井中道地区でドライバーへの安全運転呼びかけのマスコット・プレゼント作戦が午前十時から国道の両側で行われました。

佐井村交通安全母の会会員十名、佐井中学校校長先生、卓球部顧問中田均先生、部員三十名と、交通安全協会二名、大間警察署員、東出村長、村職員四名が忙しい中出席してくれました。

この日は振替休日で、恐山大祭や、仏ヶ浦まつりがあり、夏休みに入ったせいもあるが家族連れや、県外からの車もたくさん来ていました。

母の会では、手づくりマスコットや、チラシ、ガム、ヤクルトなどを用意し、ドライパーに配りながら、

『安全運転とシートベルト着用をよろしく願います』



と、生徒のみなさんが元気な声をはりあげて協力してくれました。

日中の暑い中、協力してくれた皆さん大変ご苦労さまでした。

村内のドライパーの皆さんシートベルトを着用して安全運転に心がけましょう。

＜安全運転を呼びかける参加者のみなさん＞

## 高齢者宅の家庭訪問

『毎月一日は県民交通安全の日です。』

これを期に今回は、高齢者の交通安全に重点を置き、八月一日に六十五歳以上を対象とした家庭訪問を行い、車の運転には充分注意するよう呼びかけました。そして車の免許のない方には、

「高齢者の交通死亡事故の原因は歩行中が多く占めている」ということから、歩いている時に注意すべきことなどが書

いてあるチラシや、夜間とくに暗闇から光を放つて身を守ってくれる反射材を配るなど絶対に交通事故にあわないう呼びかけました。

高齢者の皆さん夕食後にもかかわらず、心よく応対くださりありがとうございました。これからも交通事故に気を付けてください。



☆おねがい

青森県内のシートベルト着用率はかなり低く、中でも大間署管内の着用率が最も低いという結果が出ています。

出かける時は、必ずシートベルトを着用しましょう。

めざせ！シートベルト

着用率100%

## 県内の高齢者の交通事故概況

(平成9年7月現在)

青森県交通対策協議会

高齢者の死者	23 (21)	シートベルト	自動車乗車中の死者 (着けなければならない人)	30 (41)
飲酒運転による死者	7 (16)		非着用者 (着けていなかった人)	23 (29)
			着けていれば 助かったと思われる人	18 (10)

( ) 内は前年

## 秋の全国交通安全運転

毎月1日は県民交通安全の日

期間 平成9年9月21日(日)～9月30日(火)

運動の重点及びスローガン

- 1 高齢者の交通事故防止 『反射材 着けてあなたを 光らせて』
- 2 シートベルト着用の徹底 『運転中 かけようベルト かけるな電話』

# 駐在所だより

TEL 38-2218



## 飲酒暴走運転

の追放!

最近、県内各地で若者の飲酒・暴走運転による交通死亡事故が連続発生しています。

次代を担う若者が、暴走運転で尊い命を落とすことは家族のみならず地域の人々にとっても悲しいことです。

どうかわが村ではこのような痛ましい事故が発生することのないよう、家族・地域で交通安全を話し合い、事故のない明るい安全な村づくりを進めていきましょう。

- ・ 自動車に乗ったら確実にシートベルトを締める
- ・ 飲酒・暴走運転は絶対しない

以上二点を守り、交通安全に徹しましょう。



## 本官一言!

飲酒運転をした人は

①ちよっとしか飲んでいないから大丈夫

②事故を起こさず、警察に捕まらなければいい

という軽い気持ちで運転しているようですが、こんな軽い気持ちで運転したために悲惨な結果を招くことになってしまったらどうしますか。飲酒運転で事故を起こすと保険金の支払いを受けられない場合もあり、大変なことになります。

## みんなで 地域で 暴力追放

暴力団活動の多様化・巧妙化

最近の暴力団は、従来からの手法に加え、新たに市民の日常生活や経済取引に深く介入して、不当な利益の獲得を図っているほか、表面上、暴力団と無関係な企業等を装って、表経済社会へ進出するなど、様々な資金獲得活動を行い、市民生活や企業活動に大きな脅威を及ぼしています。

これから、秋祭りや旅行等で外出の機会が多くなりますが、暴力団が巧妙に何かのアプローチをしてくることも予想されます。そこで、暴力団からの被害を防止するためには、みんなが、暴力団の口角を知り、それに応じた対応要領を日頃から身につけておくことが大切です。

暴力団に対する対応要領

(1) 相手を確認する。(名刺、住所氏名等の記載、車のナンバー、人相等)

(2) 面談は自分に有利な場所で行う。(暴力団事務所には行かない。必要以上の長い

対応は避ける。)

(3) 用件を確認する。(相手は明言しないことが多いので、質問して、相手に明確に言わせる。)

(4) 複数で対応する。(不測の事態に備え、相手方よりも多い人数で対応する。)

(5) 交渉の経過を記録する。(民事訴訟や刑事事件等に備え、記録(録音等)する。)

(6) 不用意な言動はしない。(不用意な「わかりました」を、相手は「落度を認めた」と決めつけてくる。)

(7) 一筆書けには応じない。(念書や詫言状等は、悪用されるおそれがある。)

(8) 解決を急がない。(足元を見られ、付け込まれるおそれがある。)

(9) 特別の事情がない限り、相手に電話しない。(付け入る隙を与えやすい。)

(10) 警察・暴力追放青森県民会議に相談する。(暴力団からのアプローチがあった場合は、すぐに、最寄りの警察署か暴力追放青森県民会議(0177(23)8930 ニイサン・ヤクザゼロ)に相談する。)

## 事件・事故

(八月十日現在)

★七月十八日、福浦地区国道338号で普通乗用車の転落事故

★七月二十四、二十六日の未明、アルサス横コンブ干場で暴走車両による暴走行為

★七月三十一日、あすなろラインで普通乗用車横転事故

★八月一日、古佐井樋口商店前T字路でダンプと軽自動車との接触事故

★八月四日、中道地区の国道338号で普通乗用車のガードレール接触事故

★八月六日、長後地区の国道338号で普通乗用車の路外逸脱事故

★八月八日、大佐井地区で軽自動車相互の接触事故

●八月二日、古佐井地区で悪質商法まがい事案発生。矢越地区では密漁事案発生。

○ 風水害に備えよう  
非難場所・経路を確認!  
非常用携行品の確認!





# あなたも一緒に考えませんか？

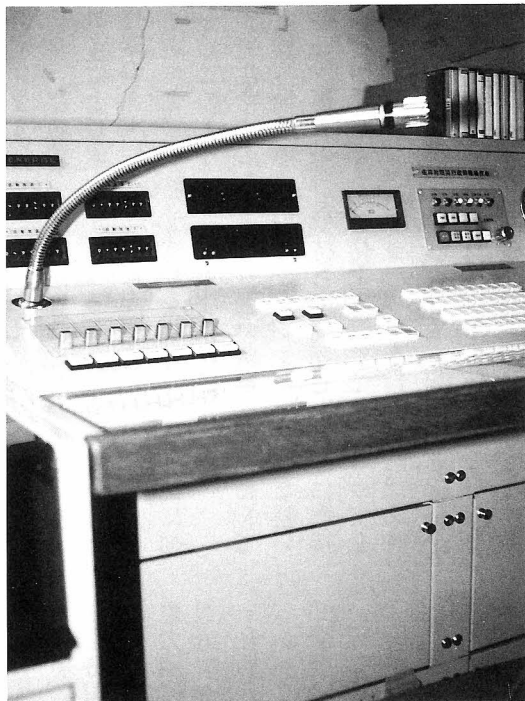
～あなたの声を行政に～



今月号から、村で現在取組んでいる政策情報を村民のみなさんに提供し、それに対する意見を広く求めて、今後の行政運営に反映させて行くことになりました。今月は「防災行政無線放送施設」の更新を考えてみます。

## 無線放送施設を更新

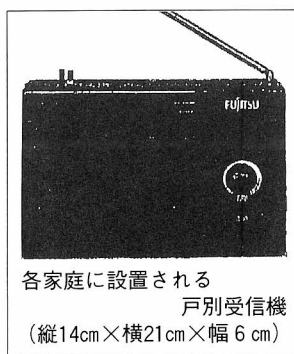
村では、火災や地震、台風などさまざまな災害から住民の生命と財産を守るとともに緊急時の行政連絡や漁協からの情報提供を行うため、防災行政無線放送施設を設置していましたが、老朽化のため、来年度に更新するため、電波調査と設計業務を行っています。この施設は、「うるさい」聞



## 無線放送施設を更新します

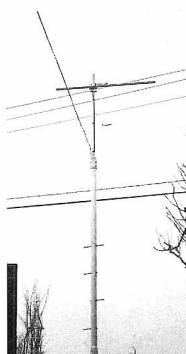
～より適確な情報を～

こえにくい、「雑音」、「他の町の放送が流れる」、「早朝の漁協の放送は迷惑だ」などの苦情が多いことから、施設更新にあたって皆さんのご意見を参考にして、良い放送施設を整備するものです。施設形態は屋外拡声器と戸別受信機の併用で、今まで屋外マストのスピーカーからの放送だけでしたが、このほかに毎戸の住宅内に戸別受信機を取り付け、屋内でも直接放送を聞けるようにするものです。戸別受信方式とは、皆さんの住宅に屋外アンテナ（室内アンテナ地区もあります。）を取り付け、家の中に小型の戸別受信機を設置します。



各家庭に設置される  
戸別受信機  
(縦14cm×横21cm×幅6cm)

- 長所
- ・住宅内でも情報を聞くことができます。
  - ・グループ放送が可能となり漁協組合員にだけ早朝の情報を住宅内に提供することができます。
- 短所
- ・屋外では音声が聞こえないこととなります。



- 長所
- ・村民が屋外でも情報を聞くことができます。
- 短所
- ・密閉した住宅内では、音声が聞こえにくいです。

- ・早朝からの放送は、苦情が出ます。
- ・風の向きで聞こえない場合もあります。
- ・このパンザマストは、現在各地区に設置しているものを原則としてそのまま利用する予定ですが、移設や新設などのご意見をお聞かせください。個人負担はありません。
- ・戸別受信機は、希望者に貸与することになります。
- ・申込みは、来年度地区ごとに受信機の申込みをしていただきます。
- ・遠隔施設等は
- ・佐井漁協から今までどおり漁協独自の放送も可能となります。（屋内、屋外選択可能）
- ・消防分署からも火災、災害情報を提供するほか、火災等には分署から屋内外にサイレンと放送で周知します。
- ・村所有の車両に無線機を設置するほか、携帯用の無線機を整備し、災害時に現場と役場との情報交換をします。

防災行政無線放送施設の更新にあたって、村民皆さんのご意見をお寄せください。葉書、封書、電話でも結構です。担当総務課管財係

☎ 2111

# 赤十字の里づくり 検討委員会だより (NO. 14)



## 青少年赤十字インドネシア訪問の翼

私たちは、青少年赤十字の実践目標であります「国際理解・親善」を体験するため、日本赤十字社青森県支部が主催する「青少年赤十字インドネシア訪問の翼」に参加しました。

インドネシアでは、異文化での生活体験を通して生活習慣を学ぶことができ、いっぱい思い出をつくることができました。

とりあえず今回の研修で、一番印象に残った出来事について報告します。



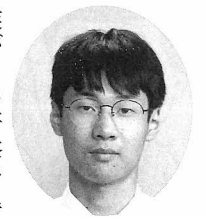
牛滝中学校 2年生  
竹内 信子

一番印象に残った出来事は九日のさよならパーティーです。私がゆかたを着るとホームステイ先の家族の人達がとても喜んでくれました。また歌を歌ったりねぶたばやしに合わせはねたりもしました。私達が鈴やうちわをもっている「ください」とインドネシアの人達が集まってきました。私にとって一生忘れられない一日でした。



牛滝中学校 3年生  
坂井 千雪

私はホームステイが一番印象に残りました。最初に行った時は言葉がわからずパニックでした。けれど家族全員で日本語の本をもちだし、一生懸命日本語をおぼえて、私たちが会話をしようとしてくれたのはすごくうれしかったです。



磯谷中学校 3年生  
福田 賢一

僕がこの研修で得たものは言葉です。現地ではインドネシア語よりほとんど英語でした。片手に辞書を持って何とか話していたという状態でした。だから、これからは、いつ海外に行くか、地元に来るかわからないので、今まで以上に英語を勉強して、対応出来るようになりたいと思います。最後に、本当にこの研修に参加出来て良かったです。



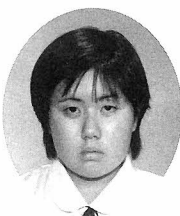
磯谷中学校 2年生  
佐々木 宏子

私は、インドネシアでの出来事で一番印象に残っているのは、ホームステイです。初めて家に入った時は、すごくきんちようしたけど、家族の人達がとてもやさしくしてくれて、あつというまにうちとけることができました。何から何まで良くしてくれて、私はこの家にホームステイすることができて本当に良かったです。



佐井中学校 2年生  
太田 祐樹

インドネシアの人々に会えて良かったと思っています。ホームステイ先の人も周りの人も良い人で、とても気分が良かったです。最初は、少し不安だったけどみんなと話をしてみると、全く逆でちょっと不安じゃなかった。一番印象に残ったのは、みんなとインドネシアのことを勉強しみんなとわかり会えたことです。



佐井中学校 2年生  
宮野 聖子

私は、ホームステイが一番印象に残りました。それは私達がホームステイ先へ行った時、笑顔で出迎えてくれたこと、笑顔の時一緒に涙を流し別れをおしんだこと、本当の家族のようにしてくれたことです。一緒に買物をしたり、あやとり&おりがみで遊んだ時も、すごくよろこんでくれました。家族がもう一つふえたみたいでとてもうれしいです。

# お知らせ コーナー

## 佐井村保育所臨時職員

募集します

■募集人員 一名

■応募資格

昭和二十七年四月二日から昭和五十四年四月一日までに生まれた方で、高等学校卒業以上の学歴で、保母資格者若しくは保育に意欲的な方

■雇用期間

平成九年十月一日から平成十年三月二十日まで

■職務内容

産休及び育児休業代替臨時保母

■賃金

佐井村臨時職員の給与の取扱要綱によります。

■提出書類

・受験申込書

(役場総務課と保育所にあります。)  
健康診断書

各一通

■提出期限等

平成九年九月十二日(金)

役場総務課まで

■採用試験等

・日時 平成九年

九月十九日(金)

午後一時三十分

・場所 役場 二階

第二委員会室

■問い合わせ

役場 総務課

☎ 2111

## 子育てメイト

ご利用下さい



青森県では、子どもが健康に生まれ育つために必要な子育てに関する相談、支援等を行うため八月一日から県内三千名の方々に「子育てメイト」に委嘱しました。当村では、次の方々が委嘱されました。

◎松谷 三枝(大佐井)

☎ 2611

◎奥本 昌子(古佐井)

☎ 2456

◎竹内 玲子(古佐井)

☎ 2132

◎館脇 昌子(矢越)

☎ 4395

◎横浜志保子(磯谷)

☎ 4396

「子育てメイト」が、保育所に通園していない未就学児をもつ家庭を訪問し子育ての悩みや不安について相談を受けたりしますので、お気軽にご相談下さい。

また、未就学児童に限らず、十八才未満の子育てに関する悩みも相談相手として支援します。

相談は無料で、秘密は厳守します。

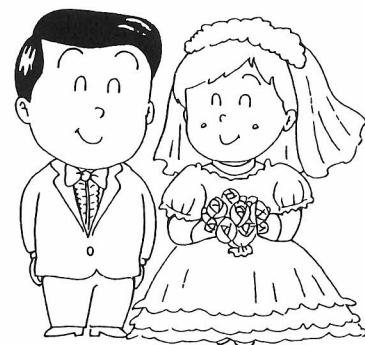
詳しい内容を知りたい方は役場住民福祉課まで。

☎ 2111

## 戸籍の窓口

村外の方も掲載します

広報さいの最終ページに、「戸籍の窓口」として、出生・婚姻・死亡等の戸籍の届出があった方のお名前を掲載しています。



## 青函ヨットレース

参加しませんか

一、開催日

平成九年九月二十一日(日)

朝七時半頃離岸

二、コース

佐井港発→函館港着

(当日午後二時から三時頃到着予定)

三、募集人員

親子(二人) 五組(先着)

四、募集〆切

平成九年九月十二日(金)

五、その他

○途中での下船はできません。

○当日宿泊する場合は宿泊費を支給します。

○傷害保険は事務局で負担します。

○波浪により船が揺れることがあります。

六、問い合わせ

役場企画調整課



# 新県長期総合プラン

ニュー・ルネサンスー



県は、今年二月に「ニュー・ルネサンスー人間性復活」を基本理念とする、新青森県長期総合プラン（新プラン）を策定しましたが、この度、写真やグラフ等を盛り込んだカラー版の新プラン冊子、新プラン概要版及び新プラン前期実施計画が完成しました。新プラン冊子等は県の各機関、市町村、図書館に配布しております。また、公民館、銀行等の金融機関窓口等に新プラン概要版を備え付けていますので、ぜひご覧下さい。なお、詳しい内容等を知りたい方は県庁企画部企画調整課にお問い合わせ下さい。

☎ 0177-22111  
内 2412・2413

# 温泉ボーリング工事

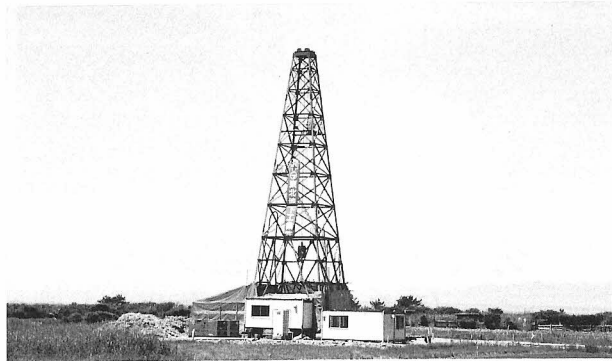
中間報告

村では、中道地区で温泉開発ボーリングを実施しています。

一、三〇〇mを掘削した時点では、揚湯水温が三十七度から三十八度、揚湯水量が毎分十九リットルで、水量、温度ともに期待された分が確保できませんでした。

このためさらに、二〇〇mを追加し、現在一、四〇〇m付近を掘削中です。

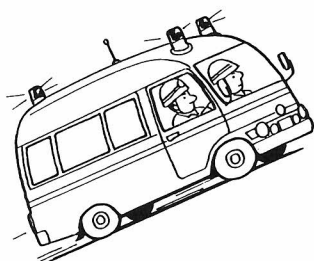
調査結果は、十月中旬頃から十一月月上旬頃までにわかる予定です。



## 9月9日は『救急の日』

9月9日は「救急の日」です。  
この日を含む1週間（平成9年9月7日から9月13日まで）は、「救急医療週間」です。  
いざという時のために応急手当の講習を受けてみませんか？  
傷病者の救命のためには、あなたの速やかな応急手当が必要です。  
応急手当講習を受けてみたい方は救急係までご連絡ください。

佐井消防分署 ☎38-2266



平成9年10月1日

## 就業構造基本調査に

ご協力を



この調査の結果は、国や都道府県が雇用政策などの施策を考えていくための基礎資料となります。

選ばれた世帯の15歳以上の皆様には、ぜひご協力くださるようお願いします。

### 恩給や共済年金の受給者のみなさまへ

国民金融公庫では恩給や共済年金を担保とした貸付をお取扱っています。この制度は、昭和28年以来、延べ500万人を越える多くの受給者の方々にご利用いただいております。制度の概要は次のとおりです。

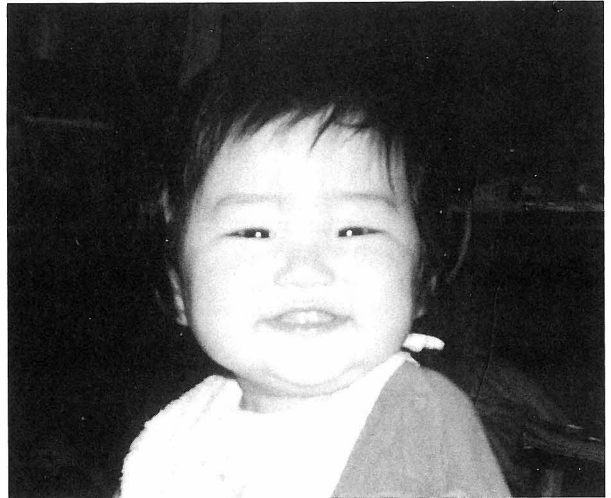
ご利用いただける方	共済年金や恩給を受けていらっしゃる方
ご融資額	250万円以内（ただし、年額の3年分以内）
お使用みち	住宅・レジャー・事業資金など、幅広くご利用いただけます。
利率	年2.8%（平成9年7月25日現在）
連帯保証人	1名以上
担保	年金または恩給の証書をお預かりいたします。
ご返済	ご返済金としてお客さまの年金や恩給を公庫が受け取ります。

借入ご希望の方は、国民金融公庫青森支店（☎0177-23-2331）恩給係までお問合せください。

# 満一歳おめでとう!!



中村 涼ちゃん  
(誠・むつ子) 古佐井



佐々木 千佳ちゃん  
(秋彦・千秋) 古佐井

## 戸籍の窓口

8月15日現在

### ◎お誕生おめでとう

木部 勇二郎 (浩司) 原田  
松谷 凌雅 (比佐志) 大佐井  
木下 裕雅 (優) 川目  
能登 有理 (正樹) 古佐井

### ◎おくやみ申し上げます

池田 ふさ子 (良喜) 長後  
米沢 りね (豊作) 原田  
吉田 真 (順一) 古佐井

※個人のプライバシーを尊重する意味で掲載してほしくない方は届出の際、係に申し出て下さい。



### 青森銀行がアルサス前に自動支払機を設置

アルサス前の駐車場内に自動支払機が設置されました。営業時間は平日が午前九時から午後六時まで。土日祝日が午前九時から午後五時までです。

## 佐井村の人口

7月31日現在

		(前月比)
男	1,660	(+1)
女	1,677	(-1)
計	3,337	(±0)
世帯数	1,114	(+3)

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業に役立てられています。

第370回全国自治宝くじ

# 50 地方自治法50周年記念宝くじ

1等・前後賞合わせて(シートで買えば) (シートくじ)

## 1億2,000万円

シートで買えば 賞金2倍

50周年記念賞(シートで買えば) 50万円×4,000シート

賞金(1枚当たり)

1等	4,000万円	24本
1等の前後賞	1,000万円	48本
1等の粗遣い賞	5万円	2,376本
2等	250万円	80本
3等	5万円	8,000本
4等	5,000円	80,000本
5等	1,000円	800,000本
6等	200円	8,000,000本
50周年記念賞	25万円	8,000本

発売期間 9月2日(火)~9月11日(木)

抽せん日:9月12日(金) 売り切れの際は、ご容赦下さい。

1シート400円(1枚200円) 宝くじ

※この広報事業は財団法人全国市町村振興協会の後援を待っています。